

エネルギー白書から

シリーズ第二部 「3・11及びその前後から顕在化してきた課題」

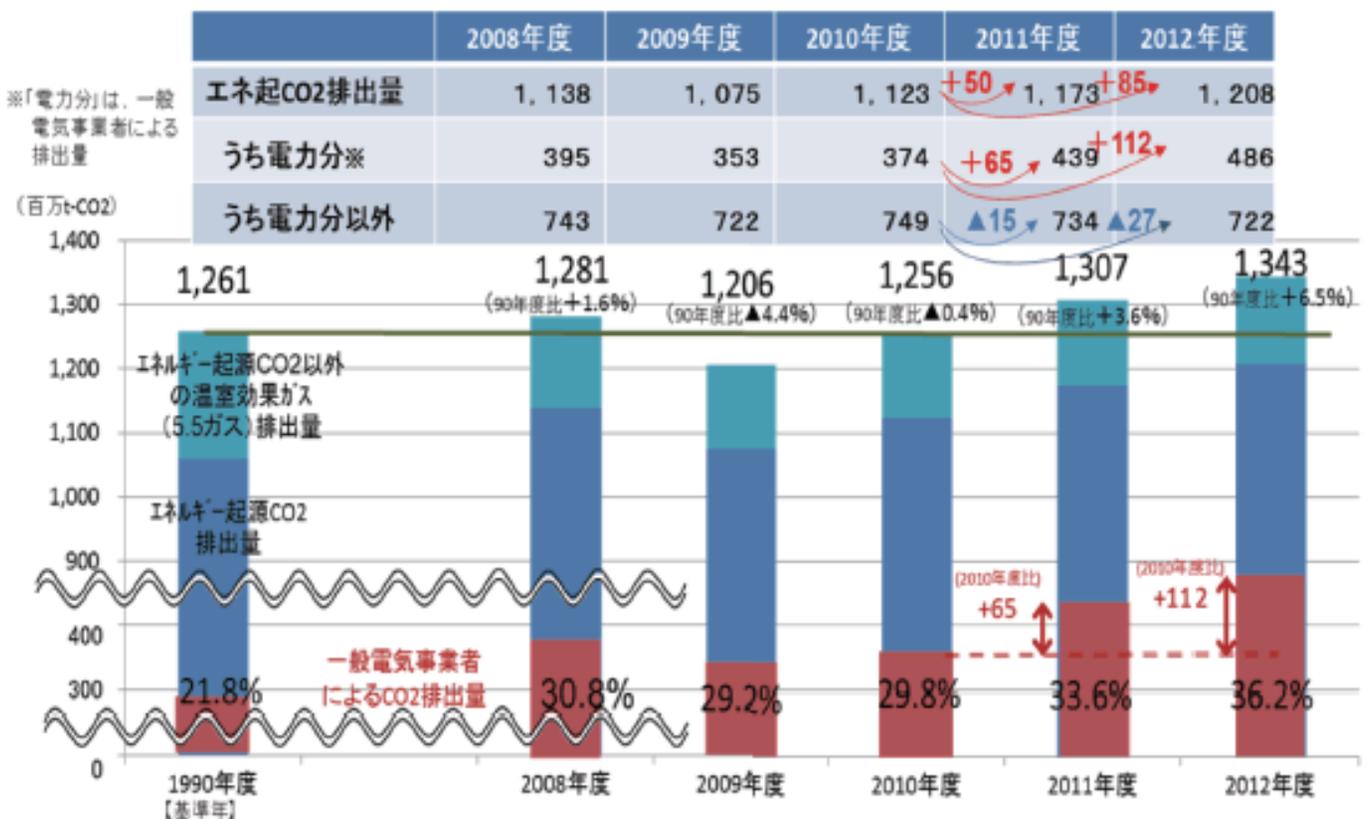
7 激増する温室効果ガス排出量

原子力発電所の停止に伴い、発電分野において温室効果ガスの排出量が多い化石燃料への依存度を高めることは、コスト面だけでなく、我が国の地球温暖化問題への対応についても困難をもたらしています。

例えば、2012年度のエネルギー起源の二酸化炭素排出量についてみると、一般電気事業者以外においては東日本大震災前の2010年度と比べて27百万トン（率にして3.6%）減少している一方で、一般電気事業者においては112百万トン（同29.9%）増加しており、我が国の二酸化炭素排出量は全体として85百万トン（同7.5%）増加しています。

今後も世界全体での二酸化炭素排出量が増加することが予測される中、これまで国際的な地球温暖化対策をリードしてきた我が国の姿勢が問われかねない状況となっています。

我が国の温室効果ガス排出量の推移



(出典) 日本の温室効果ガス排出実績(環境省)、電気事業連合会「電気事業における環境行動計画」(2009年度版から2013年度版)を基に作成